

2021年10月吉日

お客様各位

デジタルテクノロジー株式会社

Veeam ソケット単位のライセンス販売終了のご案内

拝啓 時下ますますのご繁栄のこととお喜び申し上げます。日頃より、Veeam製品をご利用いただき誠に有難うございます。Veeam社は、2019年にマルチクラウドサポートという次のフェーズに向けた準備として、クラウド・仮想・物理・NASをはじめとした、拡大し続ける一連のワークロードを利用できるよう、使い勝手のよいライセンス「Veeamユニバーサルライセンス（VUL）」をリリースしました。

この度、使い勝手のよいライセンス提供を継続する為に、2022年7月1日以降、ソケット単位の永久ライセンスの販売が終了となります。また、2022年1月1日以降のソケット単位の前払保守は3年以下に制限され、ソケット単位の前払い3年・4年の追加保守ライセンスも終了となります。

対象はVeeam Backup & Replication、Veeam Availability Suite、Veeam Backup Essentials、Veeam ONEの全てのエディションで、新規と既存のお客様どちらも含まれます。本件についてのお問い合わせはveeam-license@dtc.co.jpまでお寄せください。

今回の変更にあたって、お客様にはお手間をおかけいたします。皆様が混乱することのないよう、十分なお説明ができれば幸いです。また、本変更がVeeamソリューションを最大限に活用できることに繋がるよう心より願っております。今後ともご支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

	既存のお客様 (Veeam Backup & Replication, Veeam Availability Suite, Veeam Backup Essentials, Veeam ONE のソケット単位のライセンスを使用)				新規のお客様	
	VULの購入	VULへの移行	更新	ソケット購入	VULの購入	ソケット購入
2022年6月30日まで	●	● ※1	●	●	●	●
2022年7月1日から	●	● ※1	●	×	●	×

注：ソケットの対応範囲は、VMware VMとHyper-V VMのみです。2022年7月1日以降は、VMware VMとHyper-V VMで追加のバックアップが必要となった場合には、VULに移行する必要があります。

※1 Veeam ONEの場合、VASVULへの移行となり、それ以外の製品はVULに移行します。

以上